

与那原小学校 第3回 学校運営協議会【議事録】

【与那原小学校CSテーマ】

学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくり
～ 学校と地域でつくる安心・安全な地域・学校をめざして ～

期 日：令和8年9月2日(水) 10:15～12:00

場 所：①与那原小学校各教室（授業参観）②与那原小学校コミュニティルーム

内 容：授業参観を終えての感想交流、広域避難訓練についての意見交換等

参加者：小波津 真由美、上原 丈二、石川 健一、仲村 優香、屋比久 純子、防災リーダー、
瑞慶覧 長洋、仲村 仁志、伊禮 哉子

【会順と議事録要約】

- 1 学校授業参観 10:15～
- 2 はじめのあいさつ 校長
- 3 授業参観を終えての感想 各協議委員
○CSの立ち位置、連携について
(公助に頼りきらず、共助の視点で支援する)
 - ・学校側に「危ない」と指摘するだけでなく、行政への調整や文章作成など、CSが動ける部分は積極的に頼ってほしい○校内設備、防災用品に関する懸念と対策について
(荷物の散乱と避難経路)
 - ・学校という場所の特性上仕方ないところがあるが、物が多いように感じた。地震発生時、校内に物が散乱して通路を防ぐ可能性がある。(垂直避難)
 - ・垂直避難をしたときに、屋上で長時間過ごすことが想定されるため、対策として水やテント等を準備しておく必要がある。(避難梯子の運用)
 - ・避難梯子をおろす場所にマーク等をして、設置場所下に人が停滞しない工夫が必要。また、実際に児童がはしごを降りる訓練や、大人も降りることで耐荷重の訓練を事前に行う、設置場所下にマットを敷くなど安全性を考慮しながら運用する必要がある。(訓練への地域協力)
 - ・民生委員としても、車いす・アイマスク体験をしているように、避難訓練のサポートもできるので、声をかけてほしい
- 4 今年度の広域避難訓練について 教頭
 - ・町一斉避難訓練に合わせた避難を計画している。プレハブ校舎の児童も今回は幼稚園側から避難する。川沿いや狭い通路等の危険個所の立哨をお願いしたい。
5. その他
(Eスペースを避難場所として解放してもらう案)
 - ・避難場所の協力依頼文書を作成中。9月中に文案調整及び町・行政課での手続きを進め、10月中に確定を目指す。(次回予定)
 - ・10月25日(日)に開催。防災の目線から来賓席で体育発表会を参観し、意見をいただく。
- 6 おわりのあいさつ PTA会長 小波津